

size :: W100×H175mm ×12P
color :: 1C



テトラ フリーパワーエックスフィルター FPX-30

取扱説明書(保証書付)



淡水・海水両用
適合水槽40cm以下

- ・取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
- ・水量23L以下の水槽用としてご使用ください。
- ・取付可能水槽幅：3cm以下(水槽枠(フレーム)の幅が3.1cmを超える場合は装着できません)
- ・取付可能水槽内寸高さ：18cm以上(水槽の内寸高さが18cm未満の水槽には装着できません)
- ・セットの時、本機の底と水面との高低差が40cm以内になるように設置してください。40cm以上の高低差がある場合水圧で水漏れする事があります。

安全にお使いいただくために

- 誤った使用方法、管理不十分等による事故、または魚・水草などの生体の病気、死亡、枯死等については、弊社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- なお本品は品質向上のため、予告なく仕様変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

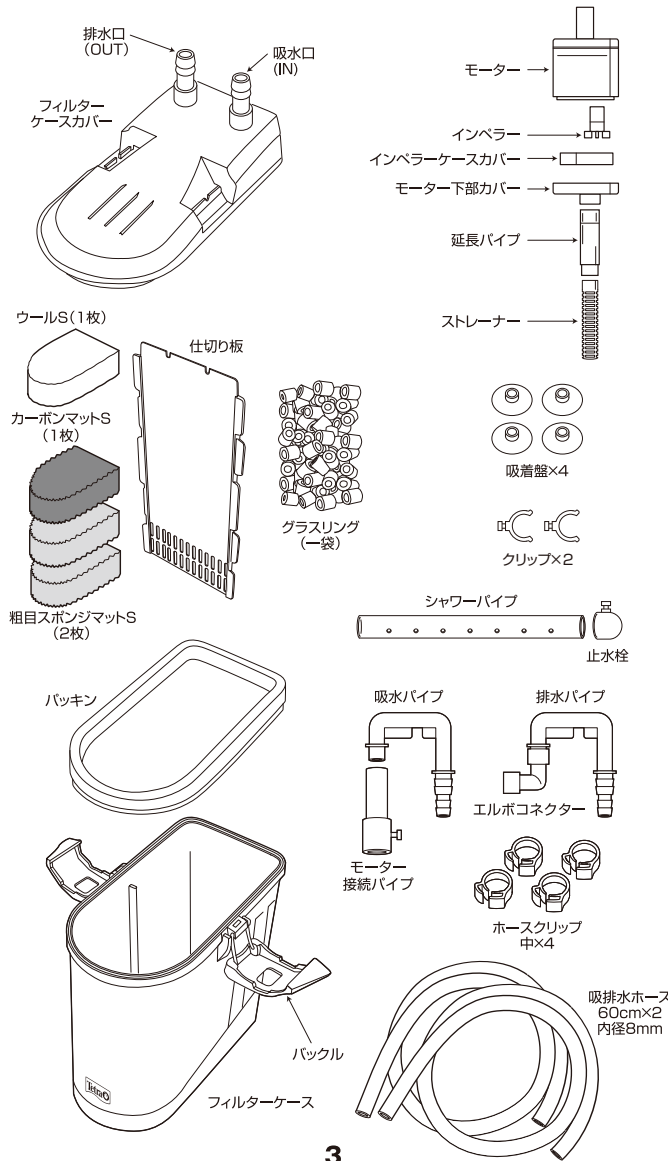
警告

- 水中に手を入れる時には前もって電源を切ってください。また、濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。
- AC100V電源のみお使いください。また変圧器などをご使用しないでください。
- 異常が発生した場合は直ちに電源を切ってください。また、メンテナンス、移動などの場合には前もって電源を切ってください。
- パソコンやテレビなどの家電製品の近くに水槽やフィルターなどを設置しないでください。
- 差込プラグの埃や汚れを放置せず、コンセントから抜いて除去してください。安全のため定期的に除去してください。
- コンセントからプラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。手でプラグを持ってコンセントから抜いてください。
- 電源コードは、挟んだり束ねたりしたまま使わないでください。また、スイッチの取り付けなどの改造をしないでください。
- プラグやコンセントに水がかからないようにしてください。また、プラグ近くのコード部に水切りのためをつけてください。
- 定格オーバーや水漏れ感電事故などを防ぐため、タコ足配線や延長コードのご使用は避けてください。
- 子供やペットがいたすらなどをしないよう十分にご注意ください。
- 引火性のもの(ガソリン、シンナーなど)の近くで使わないでください。

注意

- 梱包などについては万全を期しておりますが、購入後は早めに破損や部品不足などがないかご確認ください。
- 運転前に接続が正しいかどうか再確認し、運転後は水漏れや運転異常がないかどうか少なくとも一時間は監視してください。
- 日本国限定、屋内仕様、観賞魚水槽専用ですので、それ以外に使用しないでください。
- 強度のしつかりした水平なところに設置してください。本体を横にしたり物を乗せたり被せたりしないでください。
- 電源コードやコイルは防水上、修理交換できない構造になっていますので大切に取り扱いってください。
- 本品には弊社純正の過材をご使用ください。またろ過材の詰めすぎは流量を低下させますのでご注意ください。
- 本体同士の連結や複数の水槽間での連結循環、断続運転やタイマー運転等はしないでください。
- 各部の定期清掃や、パッキンなどの消耗品を定期的に交換することによって、故障を減らしモーターの寿命を延ばすことができます。
- 万一の故障や事故に備え、エアープンプによる通気や補助フィルターを準備してください。
- 稚魚・小魚や衰弱魚はストレーナーに吸引されることがありますので十分に注意してください。
- ストレーナーは必ずセットしてご利用ください。セットしないで使用すると異物吸い込みにより停止、故障の原因となります。
- 本体を洗浄する時、せっけん、洗剤を使用しないでください。
- ストレーナーの網目より小さな魚や砂は、フィルターに吸い込まれることがありますのでご注意ください。
- 正しい電源電圧周波数で使用してください。
- 目づまりや汚れによる流量低下は故障の原因となりますので、ストレーナースポンジやストレーナー部、モーター部やインペラー部、吸排水パイプ部は状況を見ながら定期的に掃除してください。
- 水槽の水位に注意してください。モーターを空回転させますと、故障の原因となります。
- 器具を本来の目的以外に使用しないでください。推奨されている製品もしくは当社製の付属品以外のものを接続すると、危険な状態になる場合があります。
- 0度以下の条件にさらされる可能性のある場所に器具を設置したり、保管したりしないでください。
- 作動前に、水槽にセット器具がきちんと設置されているか、水漏れがないか確認してください。
- コードは、つまみ食いしたり、引っ張られたりすることがないように取り付けセットに注意してください。
- 酸素消費量の多い飼育状況では、エアープンプを併用してください。
- 魚病薬等を使用する際は、カーボンマットSを取り除いてください。カーボンマットSが薬効成分を吸着してしまいます。
- CR-1等をFPX30に接続する場合、水が濡れずに始動できない場合があります。その場合はスターター(別売)を使用してホース内の空気を抜くことで始動可能です。

各部の名称



製品仕様

テトラ フリーパワーエックスフィルター FPX-30	
品名	観賞魚用電気ポンプ応用器具
用途	屋内観賞魚飼育用
本体サイズ	幅90×奥行156×高さ197mm
適合水槽	40cm以下
フィルター本体容量	約1L
定格電圧/周波数	AC100V 50Hz/60Hz共用
定格消費電力	2.8/2.6W
流量	258ℓ/h(50Hz)、290ℓ/h(60Hz)
ホース内径	φ8mm
原産国	中国

交換ろ過材・オプション・交換パーツ

交換ろ過材

カーボンマットS/ウールSセット
(各1枚)
細かな汚れを、目の細かい素材で物理的にろ過します。

粗目スポンジマットS
(2枚)
目の荒いスポンジ表面にろ過バクテリアを繁殖させ汚れを分解、ゴミなども物理的にろ過します。

グラスリング
(250mm×2袋)
通気性多孔質のグラスリングに繁殖したろ過バクテリアにより有害なアンモニア、亜硝酸を強力に分解して、安全な水にします。

オプション

テトラ ストレーナーフィルター
2個入
品番:75796

- ストレーナー部に被せることにより、稚魚の吸い込みを防ぎます。
- 異物の吸い込みによるモーターの停止を予防します。
- ろ過バクテリアを繁殖させ、ろ過能力を高めます。

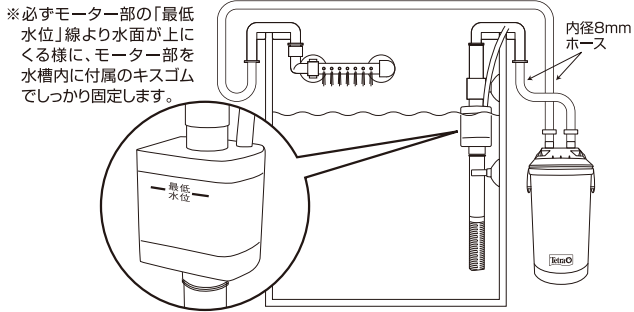
交換パーツ

品番	品名	内容物
75758	テトラ インペラー AT-30、AX-30用	インペラー
75772	テトラ 交換用モーター AT-30、AX-30用	モーター 簡一式
78307	テトラ FPX/VAX-30/45 パッキン1本	パッキン1本
78409	テトラ SPX/FPX/VX/AX/VAX吸着層(4コ入)	吸着層 4個
78417	テトラ FPX/VAX-30パイプセット	吸排水パイプ/モーター接続パイプ/エルボコネクター/シャワーパイプ/止水栓/クリップ2個/キスゴム3個
75760	テトラ ストレーナーセット AT-30、AX-30用	延長パイプ/ストレーナー
78415	テトラ FPX/VAX-30/AX-45Plusフィルターガードセット	フィルターカバー(ブラック)/パッキン1本/バックル2個

※ご購入は本体販売店にお問い合わせください。

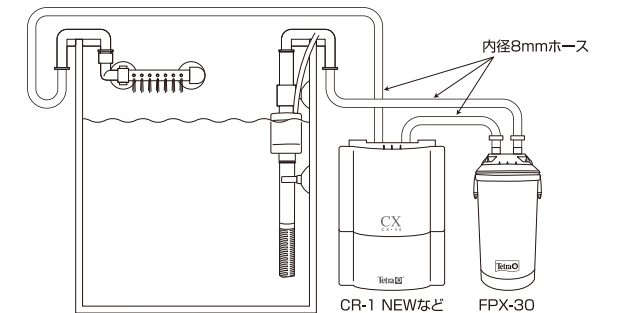
設置できる場所

下の図を参考に設置する場所を決めてください。

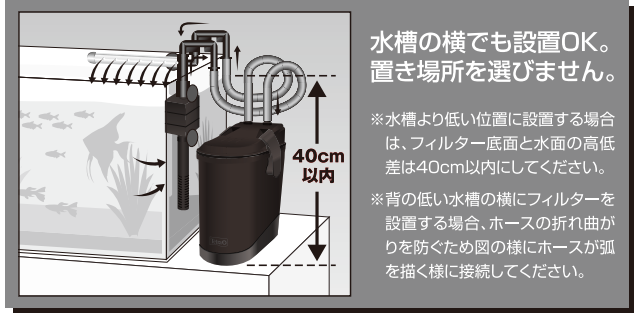


※図はイメージです。実際には吸水パイプと排水パイプは同じ面に設置していただいで結構です。

■テトラ クールボックスなどとの接続



△注意 他の機器と接続する場合、機器内の水は抜いてからモーターの電源を入れてください。



本品の底と水面との高低差が40cm以上になると水圧で水漏れすることがあります。

保証書

※販売店様へのお願い：お手数ですが、販売時に店名・販売日の記入をお願いします。

製品名	テトラ フリーパワーエックスフィルター FPX-30		
お客様	おとこ	〒	
	おなまえ	TEL	
※お買い上げ日			保証期間
			お買い上げより1年
※販売店	所在地	店名	

- お買上後1年間の保証期間内に説明書にそって正常にご使用いただいたにもかかわらず、万一故障した場合には無料で修理・調整をいたします。修理・調整は、お買上店もしくは、弊社インフォメーションセンターにご連絡ください。
- 販売店名、お買上げ日は販売店のレシートでも代用できます。
- 次のような場合は、保証期間内でも適用外となります。
 - 1) 誤ったご使用や、不注意による故障または損傷(機種不適合も含む)
 - 2) 不当な修理や改造による故障または損傷
 - 3) 火災・水害・雷・地震などの天変地異や、停電等による故障または損傷
 - 4) 飼育動物による故障または損傷
 - 5) 本保証書に販売店名およびお買上げ年月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えた場合
 - 6) 本保証書を紛失された場合
 - 7) 消耗品(インペラー/ドライブマグネット、リング、吸排水ホース)、付属品、ろ過材などの消耗による損傷
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保存してください。
- 本書は日本国内のみ有効です。

- 製造上の原因による不良がありましたら、同等の新しい製品とお取り替えいたします。
- 誤った使用方法、管理不十分による生体類の損失、家財類の被害に付いては、弊社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 品質向上のため、予告なく仕様変更する場合がございます。

スペクトラム ブランズ ジャパン株式会社

〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI横浜ビル

お問い合わせ ☎045-322-4330

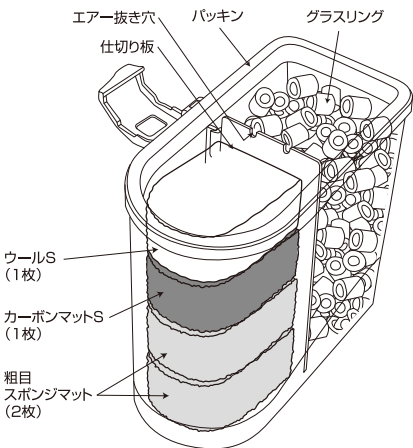
受付時間：平日10:00～17:00(土・日・祝日を除く)

テトラ ホームページ www.tetra-jp.com

size :: W100×H175mm ×12P
color :: 1C

設置方法

1.ろ過材の確認とセット

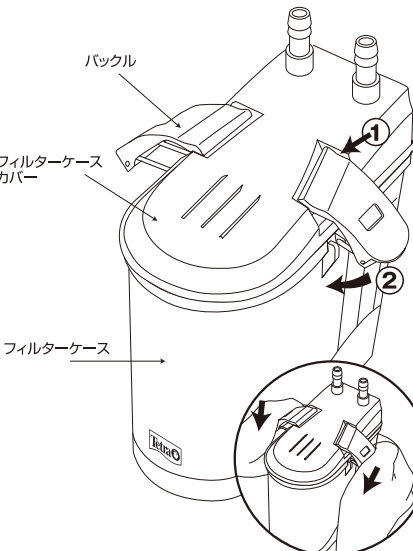


各種ろ過材を取り出し、フィルターケース内部と各種ろ過材、パッキンを軽く流水ですすいでから左図のようにセットしてください。
※グラスリングはビニール袋から取り出して流水ですすいでください。

△注意
付属の専用ろ過材以外のろ過材を使用しないでください。目詰まりや漏水、故障の原因となります。

△注意
仕切り板のエア抜き穴はろ過材などでふさがないようにしてください。仕切り板は、浮いたりずれたりしないようにセットしてください。

2.フィルターケースにフィルターケースカバーを取り付ける



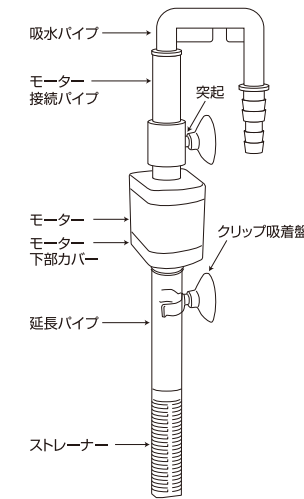
1.フィルターケースにパッキンが確実に装着されていることを確認してから、フィルターケースカバーをフィルターケースにしっかり押し込みます。

△注意
この時、パッキンの上にあるろ過材の粉や異物がなければ確認してください。パッキンとフィルターケースカバーの間に異物が挟まると水漏れの原因となります。

2.次にフィルターケースに付属しているバックルをフィルターケースカバーの①の部分にしっかり装着してから②の部分のパチンと音がするまでフィルターケースの側面に向かって倒します。

3.モーター部、吸水パイプの接続

下図の様に、モーターとモーター接続パイプ、吸水パイプを接続し、モーター接続パイプのモーター側の突起に吸着盤を取り付けてください。
モーター下部カバーに延長パイプ、ストレーナーを接続し、クリップ付吸着盤を取り付けてください。

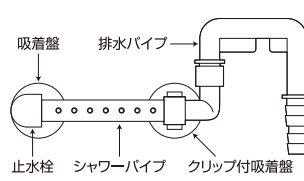


接続が完了したら、下図の様に水槽内のお好みの位置に吸着盤でモーターを固定してください。

△注意
モーターの下部カバーの外れにご注意ください。

この時、必ずモーター部に印字されている「最低水位」線が水中になる様にセットしてください。

4.シャワーパイプ、排水パイプの接続

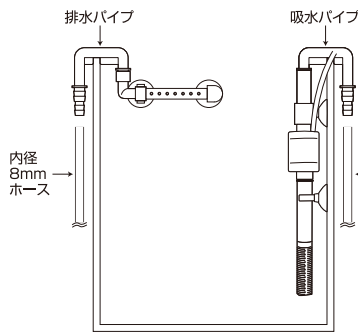


左図の様にシャワーパイプ、止水栓、排水パイプを接続し、吸着盤、クリップ付吸着盤を図の位置に取り付けてください。

接続が完了したら右図の様に水槽内のお好みの位置に吸着盤でしっかりと固定してください。

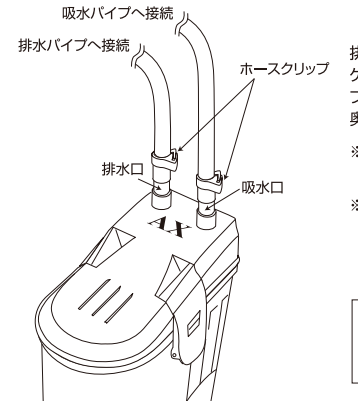
※魚が多い水槽や酸素を多く必要とする場合は、シャワーパイプは水面より上に設置し、シャワーから出る水の落下によるエアレーション効果を高めてください。
※排水の勢いを弱めたいときは、シャワーパイプの穴の向きを、下方、または水槽面に向けて調整してください。

5.吸水パイプ、排水パイプと内径8mmホースを接続する



左図の様に吸／排水パイプと内径8mmホースを接続します。
この時、内径8mmホースはフィルターケースに接続する際に折れ曲がったりしないように、ご注意ください。

6.内径8mmホースをフィルター本体に接続する



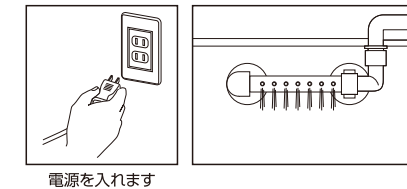
排水パイプに接続したホースをフィルターケースカバーの吸水口（IN側）、排水パイプに接続したホースを排水口（OUT側）に奥までしっかりと取り付けます。

※付属のホースクリップを使用し、外れないように奥までしっかりと接続します。

※背の低い水槽の横にフィルターを設置する場合、ホースが折れ曲がらない様にホースが弧を描く様に接続してください。

△注意
ホースが折れ曲がると流量低下の原因となります。

7.モータ部のプラグをコンセントに差し込み電源を入れる



電源を入れます

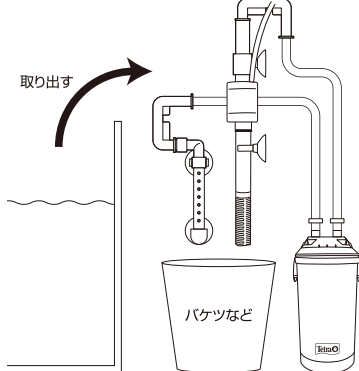
△注意
スタート時は必ずフィルターケース内の水は抜いてください。

電源を入れるとフィルターケース内に水が満たされた後、しばらくしてシャワーパイプより水が排水されます。
この時、各接続部やフィルターケースとフィルターケースカバーの間に水漏れがないかチェックしてください。
さらに30～60分後、フィルターが正常に作動し、水漏れがないかを再度確認してください。

メンテナンス

約1カ月に1回程度、またはシャワーパイプからの流量が落ちてきた時は以下の要領にてろ過材、及びモーター部を洗浄してください。

1.電源を切り水槽内からモーター部、シャワーパイプを取り出す

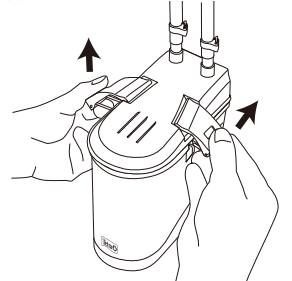


モーター部、シャワーパイプ部を丸ごとバケツ等に取り出します。
※このとき、各種パイプ、ホース、モーター内に残っている水がこぼれないように十分注意してください。

△注意
水中に手を入れる際には、前もってすべての器具の電源を切ってください。

2.ろ過材の洗浄・交換

本体内の水を抜いた後、バケツなどの中でフィルターケースカバーを「設置方法の2」の逆の手順で取り出し中のろ過材を取り出します。



グラスリング
水槽の水がカルキを中和した水ですすいでください。表面の汚れ（ぬめりなど）が洗浄しても除去できなくなりましたら交換してください。（目安：約1年）

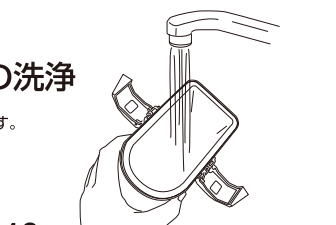
粗目スポンジマットS
水槽の水がカルキを中和した水の中で軽くのみ洗いをしてください。弾力がなくなりましたら交換してください。（目安：約6カ月）
また、交換の際はろ過バクテリアの急激な減少を防ぐため2枚同時には行わず、1枚ずつ約1カ月の間隔を空けて交換してください。

カーボンマットS
1カ月に1度の目安で交換してください。

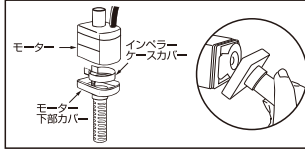
ウールS
1カ月に1度の目安で交換してください。

3.フィルターケースの洗浄

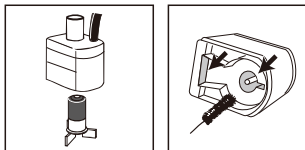
フィルターケースは内部を流水ですすぎます。



4.モーター内部の洗浄

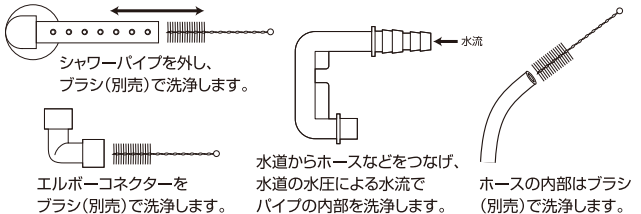


モーター部よりモーター下部カバーを取り出します。そしてモーター内にあるインペラーケースカバーを取り出します。
※下部カバーが外れにくいときは、図のようにストレーナーを接続したままデコの要領で外してください。



モーター内部の内水路を強い水流で洗浄し、ゴミを取り除きます。水道からホースなどをつなげ、水道の水圧で逆方向からも強い水流でゴミを洗い流します。

5.シャワーパイプの洗浄、吸／排水パイプ、ホースの洗浄



ホースクリップの外し方
ホースクリップを外す際は、両手でクリップの両側を持ちそれぞれを上下にスライドさせて外します。

6.再セット

逆の手順で、設置方法を参考にしながら取り付けます。この時フィルターケース内の水や接続している機器内の水は完全に抜いてからセットしてください。
また、再セット後は各接続部やフィルターケースとフィルターケースカバーの間に水漏れがないかをチェックしてください。
さらに、30～60分後にフィルターが正常に作動し、水漏れがないかを再度確認してください。

故障・異常の見分け方と処置方法

△注意 モータ部に砂や異物が詰まると止まります。下記を参照に処置してください。

現象	原因	処置方法
フィルターケースカバーが装着できない	パッキンが正常にセットされていない。 ろ過材の詰めすぎ。 仕切り板の取り付け不良。	パッキンをフィルターケースの縁に沿って正常にセットしなおします。 余分なろ過材を取り除きます。 浮いたりずれたりしないように再セットしてください。
フィルターケースカバーとフィルターケースの間から水が漏れる	パッキンが正常にセットされていない。 パッキンとフィルターケースカバーの間に異物が挟まっている。 パッキンが古くなり硬化している。	パッキンをフィルターケースの縁に沿ってよじれやずれがないようセットしなおします。 パッキン、及びフィルターケースカバーに異物が付着していないか点検します。 新しいパッキンと交換します。
モーターが回転しない	電源が入っていない。 フィルターケース内に水が入っている。 インペラー部やモーター内部、またはモーター内水路にゴミや水アカが詰まっている。または細かい砂やろ過材など異物を巻き込んでいる。 インペラー部に糸や毛などが巻きついている。 インペラー/マグネットが軸を中心にスムーズに回転していない。	電源を入れる。 フィルターケース内の水は完全に抜いてください。 インペラー部やモーター内部、またはモーター内水路のゴミや水アカを取り除くために分解そうじをします。（P11参照）また、細かい砂などの異物を吸い込まないように注意してください。 糸や毛などを取り除きます。 軸とインペラー/マグネットの間にカルシウム等のミネラル分が付着しているのを取り除きます。（モーターごと食用酢に数時間浸してから強い水流中でよく洗う。）
流量が弱まる	水槽の水位が低い。 ろ過材が目詰まり。 ストレーナー部やインペラー部、モーター内部にゴミや水アカが詰まっている。 ホース内部、シャワーパイプ内部の汚れ。	モーター部の「最低水位」線まで水を満たします。 ろ過材を取り出し洗浄、または交換します。 ストレーナー部、インペラー部、モーター内部を隅々までそうじします。（P11参照） ホース内部、シャワーパイプ内部を洗浄します。
指定外のろ過材を使用している、または他の装置を接続している	モーター内のインペラーが劣化している。	指定外のろ過材に交換します。他の装置との接続を止める。 インペラーを交換します。
異常音がする	インペラー部が破損していないかチェックします。 モーター下部カバーがしっかりセットされていない。 モーターが水槽型にあたっている。	破損している場合、交換します。 モーター下部カバーをしっかりとセットします。 キスゴムを装着して当たらないようにしてください。

※上記に該当しない場合は、テトラ製品販売店またはテトラ インフォメーションセンター（P6参照）にご相談ください。
●品質向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。予め、ご了承くださいませようお願い申し上げます。